

辺野古埋め立て阻止のために、ハガキを出そう！ 「意見書提出運動」にご参加を！

○私たち「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」（土砂全協）は、2015年設立以来、「どの故郷にも戦争に使う土砂は一粒もない」を合言葉に西日本各地からの埋め立て用土砂採取・搬出に反対する活動を続けてきました。沖縄県外から土砂を持ち込めば、外来生物混入の可能性が極めて高く、沖縄の生態系と生物多様性を損なうと訴えて、過去4回の防衛省・環境省交渉を行い、沖縄県に対しては「土砂条例」の改正・強化を陳情してきました。また昨年6月には61万筆の請願署名を国会に提出いたしました。この間全国の皆様から寄せられた絶大なご支援と、沖縄に寄せるお心の貴重さを深く感じて参りました。

○この度、工事の強行を継続しようとする政府が、マヨネーズ状と言われる軟弱地盤に関して沖縄県に「設計概要変更申請」を提出しました。この「変更」により埋め立て工事は、沖縄県の試算で2兆5500億円にも上るとされています。沖縄県が承認しなければ工事が止まる重大な時期を迎えています。

○変更申請を審査する沖縄県への意見書提出を呼びかけます。納税者として、あるいは様々な立場から意見を言うことが出来ます。意見書が1通でも多く届くことは、変更申請を認めていないデニー知事の背中を押すことにもなります。是非ともご協力ください。

沖縄県に出すハガキに書き込む例文は裏面にありますが、お考えをご自由にお書きください。

<呼びかけ団体> 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会

共同代表 阿部悦子 大谷正穂

連絡先 〒700-0973 岡山市北区下中野 318-114 松本宣崇方

TEL 090-3783-8332 (阿部)

備考

●ハガキは2枚同封しています。ハガキに「意見」を記載し、63円切手を貼ってポストにお出してください。もう一枚は、友達やご家族に、取り組みを広げていただくためのものです。（締切日の消印があれば有効です）

●防衛省の「変更申請書」は、沖縄県のホームページにアップされています。

●また、詳しくは「辺野古土砂全協」のホームページをご覧ください。

●提出は告示・縦覧が始まった9月8日から3週間後の9月28日に限られます。

「設計概要変更申請書」（名護市辺野古）に係る
利害関係人の意見書（記入例）

沖縄県知事 玉城デニー 様

（投函する日を記載↓）

2020年 月 日

（提出者） 住所 （ご自分の住所を県名からお書きください）
氏名 ○○ ○○

【利害関係の内容】

（以下は例文です。一つでかまいませんのでご記入ください）

- ・ 辺野古埋め立ては多額の税金で行われる。私は納税者である。
- ・ 辺野古への埋め立て用土砂や海砂採取による環境問題に関心がある。
- ・ 辺野古の海は人類の財産であり、全ての者が利害関係者である。

【意見】

沖縄県知事は、今回の公有水面埋立変更承認申請を不承認としてください。

【理由】

（以下は例文です。一つでかまいませんのでご記入ください）

- ・ 税金のこれ以上の無駄遣いはやめて
- ・ 軍事基地予算はコロナ対策に
- ・ 巨大軍事基地建設は沖縄への一層の基地負担強化です

- ・ 沖縄の固有の生態系を危機にさらす行為は、生物多様性条約やそれに基づいた生物多様性国家戦略に違反する行為であり、国が守ろうとしないのであれば変更申請を不許可にするとともに、現行許可を何度でも取り消して工事を止めさせるほかない。
- ・ 軟弱地盤や活断層の場所に基地建設は不可能

- ・ 辺野古のジュゴンとサンゴの海を守りたい
- ・ 沖縄の民意と自治権を支持します
するなど

63円切手
を貼り
ください

郵便はがき

〒 900-8570

沖縄県土木建築部

海岸防災課

御中

沖縄県那覇市泉崎1丁目2の2

「設計概要変更申請書」(名護市辺野古)に係る 利害関係人の意見書 沖縄県知事 玉城デニー様 2020年 月 日 (提出者) 住所 氏名	【利害関係の内容】
【意見】 沖縄県知事は、今回の公有水面埋立変更承認申請を 不承認としてください。 【理由】	